

平成26年度 糸魚川市算数部 活動報告

部長 田村 雅人

1 研究主題

「数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高める授業づくり」

2 研究の概要

今年度の糸魚川市算数部の活動は、糸魚川市立西海小学校「優れた授業に学ぶ会」と共催で実施した。整数を素数の積で表す方法を見だし、その内容を進んで発表する授業を目指した。

3 研究の実際

(1) 指導案検討会

期 日：平成26年8月28日(木)

概 要：

当日の指導者である上越教育大学教授 松沢 要一 先生をお迎えし、会場校である糸魚川市立西海小学校の先生方と糸魚川市教育研究会算数・数学部推進員で、授業者の指導案検討会を実施した。校内での検討を踏まえた指導案に、第三者的な視点から本指導案のよさや改善点を意見交換し、松沢先生からご指導をいただいた。

(2) 授業公開・協議会

期 日：平成26年9月12日(金)

授業者：五十嵐 章久 教諭

会場等：糸魚川市立西海小学校 5年「約数と倍数」

概 要：

当日の授業は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、学習意欲を高めるための工夫や子どもたちが進んで考えたことを表現する工夫が取り入れられたすばらしい授業であった。子どもたちは小グループで考えたことを互いに交流しながら、課題に積極的に取り組んでいた。

授業協議会では、授業者の発問や指示の意図、グループ活動の導入などが話題となり、参会者で意見交換を行った。板書をする位置に関しても、授業者の明確な意図があり、大変に参考になった。

授業協議会の後に、松沢先生から「学力向上と算数教材のアレンジ」という題目で、学力の三要素の一つである「学習意欲」を高めることの重要性や具体的な算数の問題をアレンジするおもしろさをご指導いただいた。松沢先生とともに、参会者全員で問題をアレンジして新たな問題づくりを行った。

4 成果と課題

糸魚川市は小規模な小学校が多く、なかなか大人数で授業を参観し協議する機会が少ない。今回は、多くの教員が授業を参観して、様々な視点から意見交換を行うことができ、大変によい機会となった。また、上越教育大学の松沢先生からご指導をいただく機会を得たことで、実践研修だけに留まらず大所高所からの本日の授業の意味付けとなるご指導をいただきとても有意義であった。参会者は、翌日からの算数の授業実践の活力を得ることができた。